

放流資源共同管理型栽培漁業推進調査 (要約)

増養殖対策科 小 松 章 博

本調査は、瀬戸内海関係海域において生息域が複数県にまたがる回遊性種の栽培漁業を効率的に推進するために、重要な栽培漁業の対象種であるクルマエビの回遊実態や利用実態を関係県が共同して調査を行い統一的な資源の管理方策等を策定しようとするものである。本県ではクルマエビ類を漁獲対象としている土佐湾中部海域の小型底曳網漁業の漁業実態や漁獲統計等を調査している。詳細については、既報「平成9年度放流資源共同管理型栽培漁業推進調査報告書」で報告しているので、ここでは要約を報告する。

要 約

I 資源利用実態把握調査

1. 漁獲統計調査

1) クルマエビ類を対象とした漁業は、土佐湾中部海域と宿毛湾で行われている小型底曳網漁業と刺網である。漁獲量は年約10トンで、全体の94%が土佐湾中部海域で漁獲され、その70%は小型底曳網で漁獲される。漁獲量は、'76年の約67トンを除けば、'73年の約38トン以降漸減傾向である。

2) 土佐湾中部海域の小型底曳網漁船は、御豊瀬漁協と高知市漁協に所属する。御豊瀬漁協のクルマエビ類の漁獲は、'73～'79年には10～20トンであったが、'80年以降は漸減し、'88年頃からは5トン前後で漁獲金額も2～3千万円である。高知市漁協の漁獲は、'77年に約10トンと多かったもののそれ以降は2～4トンで推移し、近年は1～2トンで6百万円前後の漁獲金額である。

2. くるまえばい漁業の概要

1) 土佐湾中部海域の小型底曳網漁業はクルマエビ類を主に漁獲していたが、近年は小型エビ類やヒラメなどの魚類を主な漁獲対象としている。御豊瀬・高知市両漁協の'83～'97年のクルマエビの月別漁獲

量は、5～6月と11月に多くなる傾向であったが、近年は11月の漁獲が増えることなく終漁する傾向である。

2) クルマエビ類の'83～'97年の単価は、御豊瀬漁協では4,500～5,200円/kgと安定しているのに対し、高知市漁協では'80年代に5,000円/kgであったものが、近年は4,000円/kg前後へ低下している。

これは御豊瀬漁協所属船が沖合海域で操業するため漁獲量が比較的安定しているのに対し、高知市漁協所属船は浅い海域で操業することから、'80年代はこの海域でも単価の良い大型のクルマエビ類が漁獲されたが、'90年代は漁獲量の減少と相まって単価の安い小型のクルマエビ類が漁獲主体になったためかもしれない。

3) 出漁隻数は、御豊瀬漁協では'70～'80年には6～7千隻/年出漁していたものが、近年は3千隻前後とここ20年間で半数以下になった。高知市漁協でも同様に'80年頃まで2.5千隻/年出漁していたものが、近年は1.2～1.3千隻/年へと半減している。

4) 1983～'97年の一隻当たりの漁獲量は、御豊瀬漁協所属船は各年で変動が大きいものの1.2～1.6kg/隻とほぼ横這いであるが、高知市漁協所属船は出漁隻数の減少に伴い1.0kg/隻から1.4kg/隻へと増加傾向にある。これは、操業海域の違いとH5年から放流対象種がクルマエビからクマエビへと変更されたことに関連しているのかもしれない。

3. 市場調査

御豊瀬漁協では、クルマエビとクマエビの区別はするが計量はせず代金販売し、高知市漁協では種と量ともに区分して販売されている。しかし、高知市漁協でも伝票処理上はクルマエビ類として扱われるため帳票からクルマエビとクマエビを区別して数量を把握するのは困難である。このため水揚げされたクルマエビ類の全尾数と出漁隻数の確認を両漁協に

委託して行った。両漁協の一日の出漁隻数は、御豊瀬漁協が20隻前後で、高知市漁協は10隻前後であった。一隻あたりの漁獲尾数は、クルマエビは御豊瀬漁協が多く、クマエビは高知市漁協が多かった。クルマエビとクマエビの漁獲比率は季節により変わるが、年間ではほぼ2：8であった。しかし、この値から漁獲量を推定するのは困難であった。なお、11月には当年発生群と思われる小型のクルマエビが多く漁獲されることが明らかになった。

4. 標本船調査

御豊瀬漁協に所属する小型底曳網漁船2隻の操業日誌から、'97年は夏季に台風の来襲が多かったた

め出漁日が少なく、漁獲量は前年よりも減少した。漁獲されたクルマエビの大きさは、4～5月は50～80gと比較的大型であるが、6～10月は小型化した。特に10月は当才エビではないかと思われる40～50gの中型が漁獲された。11～12月は再び50～80gの比較的大型のサイズが漁獲されるようになった。

5. 操業水域

操業水域は、東部は物部川沖合から西部は仁淀川沖合までの水深70m以浅海域である。御豊瀬漁協所属船は、主に水深30m以深の沖合海域で操業するのに対し、高知市漁協所属船は浦戸湾沖合から東部よりの比較的浅い海域で操業することが多い。